



第3回

RDD2021



写真コンテスト



テーマ
“拝啓、わたしは元気です”

RDD
(世界希少・難治性疾患の日)
とは

RDDは、より良い診断や治療による希少・難治性疾患の患者さんの生活の質（QOL）の向上を目指して、スウェーデンで2008年から始まった活動です。毎年2月末、現在は約100カ国で開催されています。

日本では2010年の東京を皮切りにして、毎年活動を少しずつ拡大しており、RDD2019は全国46箇所で開催され、RDD2020も53箇所が名乗りをあげました。

詳細は
こちらから →



応募期間 2020年10月20日から2020年12月31日

入賞作品は、2021年2月1日（月）から28日（日）まで東京駅行幸地下ギャラリーに展示されます（すべての作品をデータ展示（予定）いたします。）

応募資格

・希少・難治性疾患領域（難病）に何らかの関係がある方なら、患者さん・ご家族・友人・医療関係者・研究者などどなたでも応募できます。

作品について

・被写体は、必ずしも患者・家族である必要はありません。
・被写体はデジカメ・スマホで撮影した、撮影したテーマに沿った作品が対象となります。
・作品はひとり1点で、色調やコントラストの調整、トリミングなどを施した作成も可能です。

審査員（あいうえお順、敬称略）

荒牧英治氏(奈良先端科学技術大学院大学)・内多勝康氏(国立成育医療研究センターもみじの家)・熊谷晋一郎氏(東京大学先端科学技術研究センター)・中山優季氏(東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター)・本田睦子氏(難病のこども支援全国ネットワーク)・森田かずよ氏(ダンサー・女優)・山口啓介氏(美術家)・和田芽衣氏(写真家)

RDD日本開催事務局 rdd@asrid.org (お問い合わせはメールでお願いします)



RDD JAPAN